

「核なき世界基金」創設1周年行事@長崎

# ワークショップ「世界のヒバクシャとともに」 — 支援のあり方を考える

被爆75年（2020年）7月7日に創設された「核なき世界基金」は、間もなく1周年を迎えます。その記念行事として、来年（2022年）1月、オーストリアのウィーンで開催される予定の「核兵器禁止条約」第1回締約国会議に向けて、世界の核被爆者の現状を踏まえて、日本の被爆地（広島・長崎）から、彼らの支援をどう進めて行けるのか、具体的な提言ができるよう、第1回目のワークショップを開催します。

日時：2021年 **7/10** **土**

開場：13:00 開演 13:30 ~ 16:00

場所：長崎原爆資料館ホール

長崎市平野町7-8 TEL：095-844-1231

**先着100名様  
限定**

\* コロナ対策のため

## - 開会（挨拶と報告） -

- 1- 「核なき世界基金」創設の経緯と挨拶 高見三明（カトリック長崎教区大司教）
- 2- 「核なき世界基金」1年間の活動紹介 白浜 満（カトリック広島教区司教）

## - ワークショップ -

3- 導入：朝長万左男（核廃絶地球市民集会ナガサキ代表）

4- 発表：

- ①川崎 哲（ICAN 国際運営委員）「核兵器禁止条約と世界の核被害者援助」
- ②朝長万左男（核廃絶地球市民集会ナガサキ代表）  
「世界の核被害者の実態とモンゴル・ウラン鉱山地帯の健康障害研究支援の紹介」
- ③吉田文彦（長崎大学核廃絶研究センター長）  
「長崎大学の国際支援構想について」

（休憩）

- ④渡部朋子（NPO 法人 ANT-Hiroshima 理事長）  
「顔の見える関係作り、世界核被害者フォーラム@広島を踏まえて」
- ⑤竹峰誠一郎（明星大学人文学部人間社会学科教授）  
「世界の核実験被害者の救援措置の掘り起こし」

5- 総合討論

## - 閉会（挨拶・記念撮影） -

プログラムの様子はYouTubeで配信されます。

なお、配信の情報は、近日中に「核なき世界基金」のホームページ上でお知らせいたします。

主催：核なき世界基金 <https://nuclear-free.net/>

この記念行事に関するお問い合わせは、  
朝長万左男（090-9400-1943）まで。



核なき世界基金

One Coin Net   
Nuclear-Free World Foundation  
LOGOMARK DESIGN: M.NOHJIMA